

福島青年会議所

がんばろう！ふくしま「復興やきとりまつり」実行委員会（福島県）



「ふくしま やきとり スタンプラリー」

【事業目的】

福島の魅力を全国に発信するためふくしまやきとりの会の会員店で「スタンプラリー」を実施。焼き鳥を福島市の名物として周知を図ると共に福島県産地鶏を全国に知られるご当地グルメとして育成していく。「スタンプラリー」を開催することにより、東日本大震災、放射線の問題で疲弊する福島市民、避難している仮設住宅の住民の心を癒し、明日への活力を与えることを目的とする。

【事業実施状況】

「ふくしまやきとりの会スタンプラリー」開催

実施期間) 平成23年12月16日～平成24年2月末
実施内容) 加盟店で飲食する毎に貰えるスタンプを3個集めて応募すれば商品券や食事券が当選。
来店者数) 約1万人

がんばろう！ふくしま復興やきとりまつり」実行委員会

- ・福島青年会議所 ・ふくしまやきとりの会
- ・県酒造組合 ・川俣シャモ農業振興公社 ・内池醸造
- ・伊達物産 ・会津養鶏協会 ・福島民報社

【成果・今後予想される事業効果】

多くの来店者があり、また、アサヒビール福島工場の協力で、店舗によっては地場産ビールのセットメニューを創出できた。さらに、福島市内の仮設住宅に暮らす避難住民らも訪れ、引きこもり解消やストレス解消に貢献できた。また、飲食店に出かけることにより、気分転換を図り、仲間とのコミュニケーションも生まれた。

「福島県には名物料理がない」と言われる現状を打破し「ふくしま焼き鳥丼」を全国に知られる新名物にして全国から誘客を図り、にぎわいを創出した。

今後は、やきとりの会以外の県内の飲食店を巻き込んだスタンプラリーを実施し、地域振興を図る。2年後には焼き鳥丼など全国の名物丼を集めた「全国丼サミット」を開催（誘致内定）。県民や観光客に福島県の食文化をアピールする。

原発事故の影響で深刻な風評被害の渦中にある伊達鶏、川俣シャモ、会津地鶏など県固有の地鶏の種の保護、継承を目指す。